

株式会社昭和真空

真空一筋、真空技術を掘り下げて先端産業を支える ——「ニッチトップの雄」として、独自製品を次々生み出す

ここに注目!

世界シェア 90%の水晶振動子「周波数調節装置」
大学、企業との共同研究等で持ち込まれたシーズ（「種」）を先端デバイス製造装置に変換

明治製菓（現明治）、大正製薬、昭和電工など、社名に年号を採り入れた有力企業は少なくない。昭和生まれの「真空技術をキーテクノロジーとする電子部品用薄膜装置メーカー」である昭和真空も、その1社。同社は「年号企業」の先輩たちと同様に、刻んだ歴史が積み上げた技術・ノウハウを、次代を切り開く先端テクノロジーに昇華させ、令和の今を疾走している。

真空には、蒸発しやすい、放電しやすい、酸素がない、対流がないといった性質がある。それらの性質を生かした真空蒸着、スパッタリング（プラズマを用いた成膜手法）、真空断熱、真空包装、真空冶金など多種多様な技術が開発・実用化されている。

戦後復興期の昭和28年（1953年）、前身となる小俣真空機器研究所が発足。以来、70年近くにわたって真空技術一筋、真空を深

掘りして今日に至るのが昭和真空である。特に真空蒸着やスパッタリングなど成膜技術を得意とし、現在は、成膜工程が不可欠な水晶デバイス関連と光学関連を主力2分野としている。ひとつずつ見ていこう。

「産業の塩」づくりに貢献

水晶デバイスとは、圧電現象（圧力を加えると電圧が発生する現象）と呼ばれる水晶の電気的特性を利用する水晶振動子、水晶発振器などの総称。各種電子機器に欠かせないことから「産業の塩」とも言われている。その塩づくりの際、大きな役割を担うのが真空技術で、同社では真空技術に基づく各種の水晶デバイス製造用装置をラインナップし、高いシェアを誇っている。

光学関連では、高画質化、小型化、低コスト化がキーワードの光学関連製品にフィットする装置の

数々を開発し製品化している。代表例がスマートフォンのマイクロカメラレンズ向け反射防止成膜用装置で、ガラスからプラスチックへと素材が変わったカメラレンズに対応し、需要は拡大するばかり。

同社の経営戦略は明確だ。「成長するニッチ市場へのフォーカス」「技術力による差別化と独自性発揮」「徹底したコストダウンによる価格競争力の実現」の三つを打ち出し、その有言実行に徹している。水晶振動子製造工程用「高精度周波数調節装置」で世界シェア90%を獲得しているのが有言実行の証しとなる。同装置が高く評価され、同社は経済産業省選定の2020年グローバルニッチトップ企業100選に選ばれている。

「種」を探し「芽」を育て「実」を結ぶ

2020年3月、本社工場内に新



2020年3月より稼働した新研究開発棟（外観）



2020年3月より稼働した新研究開発棟（内部クリーンルーム）

たな研究棟を建設し稼働させた。同研究棟では大学や企業との共同研究に力を入れている。現在、複数の大学と共同研究を手がけており、企業との間では、依頼実験の受託や多くの共同研究・開発が、常時、同時並行で進んでいる。

小俣社長は、共同研究について「お客様から持ち込まれた『種』を、技術力により『芽』に育成し『実り』につなげるのが狙い」と説明する。

同社が手がける真空関連事業の技術領域は幅広い。応用物理、化

学系から、ロボット搬送等のメカトロ系、自動制御に係る電気系、AI（人工知能）といった電子・コンピューター系まで、学際的あるいは業際的な多彩な技術・知識が、同社製品の礎となっている。そのため、リクルート面では理系学生を中心に学部を問わず広く募集中。営業や管理系で活躍する文系学生の採用にも力を入れている。

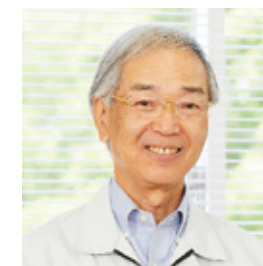
教育に関しては、OJTを基本に、業界団体である日本真空工業会や所属するアルバックグループ

の中核会社である株式会社アルバックの研修カリキュラムなども活用し、実践的、効果的な人材育成策を進めている。「まず、挨拶からと、挨拶が基本の企業文化を築いている。一方で、個性や多様性を重視しており、天才肌のオタク的な社員も活躍している」（小俣社長）。

昭和、平成に次ぐ令和の時代を迎えても、昭和真空の名は、少しも色あせず、むしろその輝きは増すばかりだ。

わが社を語る

代表取締役社長
小俣 邦正氏



5G/6GやEVでも大きな役割担う

世界の一流企業で最先端の技術開発に取り組んでいる人たちと一緒に仕事をするため、やりがいとプライドを感じている社員が少なくありません。5G/6G（第5世代／第6世代移动通信システム）の無線通信や、車のEV（電気自動車）化・自動運転化といった最先端の産業領域に欠かせない役割を担うのが当社の技術であり製品です。

今後もその役割を担うには、技術開発力の強化と、社員それぞれの仕事に対する「本気度」の二つが欠かせませ

ん。二つを後押しし実現するための施策を講じるのが私の務めだと考えています。社会教育家の後藤静香さんが「本気」という詩を書いています。以下が全文で、この詩は昭和真空とそこに働く社員の理想の姿を表していると惚れ込んでいます。

本気ですと、たいてい事はできる／本気ですれば、なんでも面白い／本気でしていると、だれかが助けてくれる／人間を幸福にするために本気ではたらいっているものは、みんな幸福で、みんなえらい



スマート社会のその先へ 真空技術で支える豊かな未来

同社のテクノロジーは多くの人々の生活の一部としてスマート社会にとけ込んでいる

会社 DATA

所在地：神奈川県相模原市中央区田名 3062-10
創業：1953（昭和28）年9月
代表者：小俣 邦正
資本金：21億7,700万円（東証JASDAQ上場）
従業員数：連結：244名（2021年3月末現在）
事業内容：真空技術応用装置の製造・販売、関連サービス
URL：https://www.showashinku.co.jp

